



Light Up Rotary



第2780地区
大磯ロータリークラブ

2014～2015年度RI会長
ゲイリー・C. K. ホアン

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 守屋 紀忠

会長エレクト 河本 親秀

幹事 井上 浩吉

第2317回 例会 平成27年2月26日 (雨) No.31

■司会：大藤 勉

■点鐘：守屋 紀忠

■合唱：それこそロータリー

◇プログラム ・3月5日：斎藤正淳さん、理事会 ・3月12日：守屋紀忠さん ・3月19日：休会(定款適用)

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率
2317回	18(16)	9	56.25%	—	—
2314回	18	18	100.00%	—	—

◇欠席者(7名) 小林、宮澤、石山、鈴木、原、田中、野田さん

◇メークアップ(0名)

◇会長報告

守屋 紀忠会長

3月の予定表をお配りしました。第3週(3/19)は春分との関係で定款適用休会ですのでご注意ください。

ある雑誌(家の光)にこんな記事がありました。

「楽しく使う暮らしの時間術」

＝5分あれば出来る事。1時間に5分は12回巡ってきます。時計の長針が30度進むその時間をどう作るか、どう使うか？たかが5分、されど5分。著名人の使いこなし術：「人生5分の積み重ね」元漫才師西川きよしさんの記事。

「お陰様で忙しく仕事させて貰っています。僕ら芸人の仕事はとにかく時間との闘いです。そういう意味では5分といえども大切です。家でも楽屋でも、5分空いた時は腕立て伏せをしたり、スクワットをしたりして血の巡りをよくするようにしています。得意は三点倒立です。余り高齢の方には勧められませんが・・・。」又彼は大家族=奥さんの父母、自分の父母などを看取ってきた中で、「家に帰ってきた時は肩を撫でる等接触する事が年寄りには良いという



事で色々やってきた」という事も書いてありました。

◇幹事報告

井上 浩吉幹事

1. 財団奨学生オリエンテーションのご案内
奨学生とカウンセラー出席義務。
2. 3月のロータリーレート：1ドル118円
3. オクトンカタログ2015年度版受領

◇一言：大磯町の歴史

井上浩吉さん

湘南発祥の地：

湘南の文字を持ち込んできたのは嶋立沢庵を創設した崇雪(一般にはソウセツ)でした。何時持ってきたか？未



だはっきりと分かりませんが、崇雪の石碑の裏側に「湘南は清絶に尽きる地」とあります。その清絶の地とはこれとはっきりとは分からない。禅の言葉であろうかと思えます。それを裏付ける本=二川随筆=がありその中にその情景が書き込まれています。「部屋の中で南の窓を開けると海岸が見える。砂浜があつて磯があつて海が見える。北の窓を開けると旅人が往来している賑やかな情景が見られる」とい

う事を書き記しております。それが湘南とどうなんだ？という事になりますとやはりこれは崇雪に聞かないと分からない。

湘南という言葉が大磯に定着して、世間に広まって、今は自動車のナンバーも湘南になっており、広い範囲で湘南が使われています。

◇委員会報告

☆スマイルボックス 笹尾 政儀さん

- ・ 守屋紀忠さん：新宅さん卓話よろしくお願ひします。
- ・ 河本親秀さん：新宅さん卓話楽しみにしています。ネクタイ忘れました。呆けたかな??・・・
- ・ 笹尾政儀さん：新宅さん卓話楽しみして居ります。
- ・ 百瀬恵美子さん：新宅さん卓話たのしみです。
- ・ 新宅文雄さん：新宅の卓話の番が来ました。おつきあい下さいます様お願ひします。太田さん久しぶりです。うれしいです。
- ・ 太田知加子さん：やっと出席させて頂けるようになりました!!これからも どうぞ よろしく 御指導下さいませ。新宅先生の卓話楽しみです。

☆河本親秀さん：
 Bangladesh International Cooperation Team の原貫太さんからメールが来ましたので紹介します。



ご無沙汰しております。 Bangladesh International Cooperation Team 代表の原貫太です。第二回 Bangladesh 現地渡航が近づいてきたので、ご挨拶差し上げました。

1週間後の3月2日から、再び Bangladesh に行ってきます。団体としての活動は3月17日までを予定していますが、僕は30日まで現地に滞在する予定です。

本渡航から、ストリートチルドレンの社会復帰支援を目的とした「Conference with Street Children」、啓発を目的とした「Awareness for The Child」の二つのプロジェクトを実施します。

現在政治闘争の関係で首都ダッカの治安情勢が悪く、現地とのコンタクト並びに情報収集に追われていますが、気を緩めることなく準備にあたりたいと思います。帰国後、活動の報告会をロータリークラブの卓話にて是非やらせて頂きたいと思ひます。

今後ともどうぞ、宜しくお願ひ致します。

河本の方からは次のように返信しました。

第2回 Bangladesh 訪問ご苦労様です。約1ヶ月の活動、健康には十分気をつけて頑張ってください。成果を上げられる事を期待しています。

紛争には絶対巻き込まれないよう細心の注意を払って活動下さい。

4月以降、是非貴方の帰国報告を大磯RCの卓話でして頂きたいと思ひます。

再会を楽しみにしています!!

2月の第8グループ会長・幹事会で原さんの卓話を聞いて貰えるよう働きかけましたが、残念ながら未だ反応がありません。3月の活動を含めて再度PRしたいと考えています。

◇卓話

◆◆◆”幸福”と”教育再生”

”親学の間・設置の提唱”◆◆◆

新宅 文雄さん



I. <幸福は文化芸術の力で> 資料 (前文化庁長官 近藤誠一様講演会より)

(日本) (デンマーク)

1. 長寿国世界ランキング・・・・・・・・・・
1位・・・・・・・・・・29位
2. 世界の経済大国・・・・・・・・・・
3位・・・・・・・・・・30位
3. 国際競争力・・・・・・・・・・
6位・・・・・・・・・・9位
4. 国民一人当たり所得・・・・・・・・・・
17位・・・・・・・・・・5位
5. 人間らしさが実現されている国・・・・・・・・・・
10位・・・・・・・・・・16位

6. 総合得点は・・・・・・・・・・・・・・・・・・
9位・・・・・・・・・・10位
7. 世界の人が住みたい国・・・・・・・・・・
12位・・・・・・・・・・10位
8. 国民の幸福度・・・・・・・・・・・・・・・・・・
90位・・・・・・・・・・1位

このギャップは何なのか？

恵まれた環境に住んでいながら、何故日本人には幸福感が無いのか？それは戦後日本の驚異的経済復興の裏で二つの事が起こっていた。

まず見事な復興の成功体験により、幸福追求の手段でしかない経済成長が自己目的化した。その結果、これだけ世界に評価される国になったのに、経済停滞と新興国の追い上げの前に閉塞感に陥ってしまった。

第二にこの間に文化芸術を軽視し過ぎた。経済成長に直接資する画一性と勤勉さが美德とされ、余暇や文化により幸福を求めることに後ろめたさを感じるライフスタイルになってしまった。その結果世界に誇る文化資産を国民が鑑賞し、生活の一部に組み込むシステムが育たなかった。才能あるアーティストは外に行き、国民は成熟した社会を、更に前に進める上で鍵となる創造性を養う機会を失った。

まだ遅くない。優れた文化資源と才能は十分にある。頭を切り替え、文化芸術を教育と生活の中心に置けば、芸術のもつ力が、日本の息を吹き返させてくれるだろう。

(以前 ロータリー国際親善奨学生談 オーストリアの国を支える産業は知らないが、国民は余裕がある、豊に暮らしている。コンサートにはきれいに着飾ってみんなででかける・・・)

(芸術の力とか教育の力により まちおこしを成功させた例は沢山ある。)

とは言うものの、1000兆円の借金を次の世代に回してはならない。せめて国債残高が減っていく目鼻だけは達成しなければならぬ。1兆円は毎日100万円づつ使っていて2740年かかるが、その1000倍ですから物凄い数値です。

11.<自分を変える勇気と叡智> 資料 (聖ステパノ学園 小川正夫理事長様)

新年の読売新聞に三日間にわたりノートルダム清心学園理事長・渡辺和子先生と本社特別編集委員・橋本五郎氏との対談の記事が掲載されました。渡辺先生はご自分の幼い頃、母親から受けた教育の思い出話に始まり、いま私達が子ども達に注ぐ眼差しや思いに問いかけています。

我慢すること、努力すること、不自由をいとわないこと、この三つを繰り返し、大切なこととして子ども達に教えられたそうです。この三つのことが、やがて自分の思うままにはならない世の中に出たとき、きっと彼らの助けになる。

不自由と感じる経験に耐えることで、本当の自由を手にすることができるので、子ども達に不自由な思いをさせたり、我慢させたりすることを不憚に思ったり、忍耐し努力させたりすることに躊躇しては、やがて社会生活する人間として不自由を感じ、適応が難しくなるのではないかという考えです。

いまどきこのような考え方は流行らないという感もありますが、今日社会の秩序や倫理観が危うく感じられるようになってきているのも、このあたりに起因しているかもしれません。

自由は、自分の思い通りにことが運ぶことではなく、様々な制約の中で実行できる意志で、してはいけないことはしない自制心を持つ自由、しなければいけないことを実行する勇気を持つ自由、相手の立場に寄り添って考えられるゆとりを持つ自由が大切だということです。

言い換えれば、自分の意志で自己管理、自己抑制が出来るということです。皆がしているからする、皆がしないからしないではなく、自分自身が判断して決める実力を持つためには、幼いころから自分自身の心との戦いが大切だという考え方です。

思い通りにならない相手によって自分が高められるという言葉がありますが、私たちは物事がうまくいかないとき、周囲と考え方が異なるとき、人間関係でうまく理解しあえないときなど、相手が変わることを期待しますが、本当は自分が変わろうとしなければ、いつまでも状況は変わらないことを自覚することです。

様々な出会いの中で自分は運が悪いとか、幸せでない悲観的になったりしないことです。出会う人それぞれの出方次第で自分が幸せにな

ったり、不幸せになったりしては、環境の奴隷でしかない。自分が積極的に行動することで幸せを手に入れることが大事です。

友達が悪い、先生が悪い、学校が悪い、親が悪い、マスコミが悪い、社会が悪い、政治が悪い、だから自分は幸せになれないといって批判するのではなく、今の自分には生き甲斐を見出せないではなく、積極的に生き甲斐を見出す仕事への取り組み方が大事です。

それぞれに置かれた場所で立派な花を咲かせるという思いが大切な心得だといいます。これは今自分が置かれている立場で我慢しなさいということではなく物事を肯定的に受け止めて建設的に生きるということです。

<資料>

- #、お母さんに言ってこらしめてもらう
- #、お弁当のおかずが駄菓子
- #、子どもが苦手だから跳び箱の授業の中止を求める
- #、理由なく給食費を滞納する
- #、できちゃった婚が多い、妊娠前から親学をしなければ
- #、教育再生会議・・・母乳や子守唄の推奨も反感を招き国主導の親学構想は暗礁に乗り上げた
- #、教育再生推進の民間団体が・・・「ちゃんと育児をしなきゃと思うけどどうしていいか・・・」と打ち明ける母親に「最低限やらないといけないことを確認しましょう」とスタッフが助言した。最初74人集まった、母親は4年後には1000人を突破した。自分の子しか見えなかった母親が仲間と話すうちに変わってくる。親の変化は子を動かす。東京の小学6年生の男児は昨年まで、万引きや暴力が絶えなかったが、最近は問題行動もほぼなくなり、授業態度も落ち着いてきた。
- #、結婚して子どもが出来て、直ぐ離婚する。生活保障があり、働くより楽だ。
- #、お茶って自分の家で作れるんですか幼稚園児の母親 私は子どもの時からずっとペットボトルで育った。お茶を入れる、急須の言葉を知らない。
- #、選挙権が18歳から与えられるようだから、

人気投票でなく政党、人物を見抜く力や税の仕組みの勉強をさせなければならない。

- #、ある店員が店のレジから金銭を失敬した。店主は店員を解雇した。解雇された店員が解雇無効の訴訟を起こした。裁判は解雇無効の裁可が下った。詐欺を根拠に即解雇は無効だ。対抗要件にならない。泥棒を解雇できない、ふざけちゃいけないよ、泥棒を飼っておけというのか・・・店主
- #、親力を身に付ける場がないところに問題の深刻さがある。
- #、ロータリークラブは青少年育成奉仕活動をしてきましたが、親力を身につける「場」を提供する奉仕活動が必要ではないでしょうか。
- #、大磯ロータリークラブも、関係機関と相談して勉強して、親学を遂行していけば、教育再生推進の民間団体のように何か変化があるかもしれない。

親学の奉仕活動を通じて、クラブの会員増強に帰結したい。自分たちが変わらなければ、状況変化なし。

ご静聴有難うございました。

以上

例会前スナップ

